

【柱3：かがやき】

「長岡京市市民協働のまちづくり指針」を市民と行政の協働のあり方を示す基本的な規範と位置付けています。住民主導の地域づくりのもとで地域の自治機能を高めるとともに、誰もが生涯を通じて学ぶことができるまち、一人ひとりの人権が尊重され、自分らしい人生を選びとっていけるまちを築いていきます。

■ 分野別の達成状況

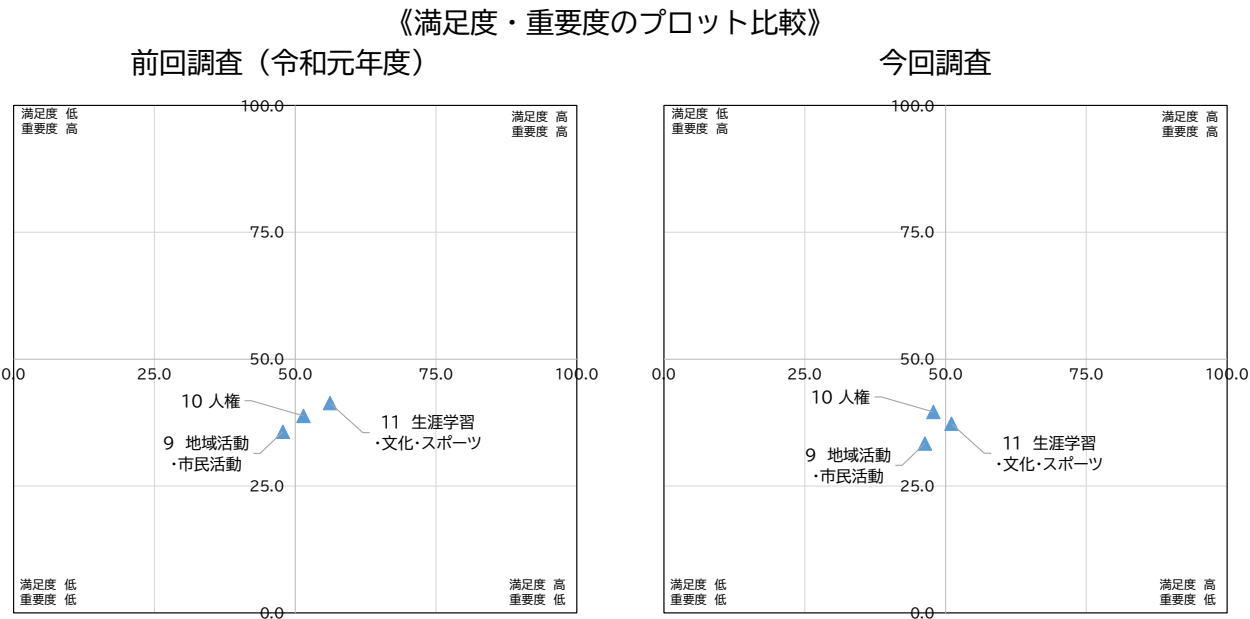
施策の達成状況をみると「多様性を認め合う共生社会の実現」が3点で最も高く、「自治活動の促進」「人権・平和を尊ぶまちづくり」が2点で最も低くなっています。

分野	5年後の目標	施策	R 7達成見込
分野9 地域活動・市民活動	地縁型・テーマ型の多様な市民活動の中で生まれるふれあいと交流、協働によって、まちが元気になっている。	1. 自治活動の促進	2 点
		2. 市民活動の活発化と協働の促進	2.67 点
分野10 人権	一人ひとりの人権が尊重される居心地のよいまちで、誰もがその人らしく、自らの個性と能力を発揮している。	1. 人権・平和を尊ぶまちづくり	2 点
		2. 多様性を認め合う共生社会の実現	3 点
分野11 生涯学習・文化・スポーツ	誰もが学びの喜びに満ち、文化や歴史に親しみ、運動・スポーツを楽しむ機会が充実し、生活にうるおいと心身の健康を感じている。	1. 生涯学習環境の充実	2.2 点
		2. 文化・芸術の振興	2.33 点
		3. スポーツの振興	2.33 点

※ 達成状況は実施計画事業ごとの目標の達成状況について、「達成」3点「8割程度」2点「5割程度」1点「2割以下」0点、として加算し、その平均を施策の点数として算定。

■ 分野別の満足度と重要（市民アンケート調査結果）

満足度・重要度のプロットをみると、すべての分野で重要度が平均よりも低くなっています。前回調査と比較して、各分野の相対的な位置は変化ありません。



※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

■ 施策評価

【分野9 地域活動・市民活動】

施策	施策1 自治活動の促進
5年後の目標	地域住民の間に日常的な対話が増えてつながりが生まれ、地域の課題に市民が主体的に向きあい行動している。
実施計画事業	① 自治会活動支援事業 令和 3、4 年度は感染防止対策をとりながら「市長と語る対話のわ」を開催し、市の現状とまちの新陳代謝について自治会と活発な意見交換を行いました。 自治会の負担軽減や加入促進に取り組みましたが、全体として加入率は減少しています。自治会役員の負担軽減や若年層の加入促進を目的にデジタル化ツールの導入に向けた検討を進めています。 ② 地域コミュニティ活性化事業 令和5年度には校区単位の地域コミュニティ協議会が9校区で設置され、住民主体の活動を実施しています。 ③ 助け合いとつながり事業 令和4年度に「助け合いとつながりのまちづくり条例」を策定し、令和5年度は、無作為抽出と公募で集まったメンバーによる全5回「考える場（まち活 MTG）」を実施し、次年度以降に活動をはじめようとする方が生まれました。
市民意見 (アンケート調査等)	・ 住民同士の絆、関わりを深めるきっかけづくりのため、ボランティア活動がしやすい環境があるとよい。

施策2 市民活動の活発化と協働の促進
生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。
① 市民参画協働推進事業 協働意識向上のための研修を入所1年目の職員（令和 3、4 年度）と、主に係長級の職員（令和5年度）を対象に実施しました。 市民活動団体に市民活動応援補助金を交付し、財政的支援を行うとともに、活動発表会を市民活動サポートセンターと3月に共催し、市ホームページで活動内容を紹介しました。市民活動オフィスフロアの利用促進に向け、広報、HPの掲載及び利用者への更新案内を行いました。令和5年度は5団体6ブースの利用がありました。 ② 市民活動サポートセンター事業 市民活動サポートセンターの指定管理者として「一般社団法人市民活動ネット・チーム長岡京」に委託し、団体同士や市民のネットワークづくりの支援、市民への周知をはかる各種事業、登録団体やスタッフのスキルアップのための研修会を実施するとともに、ホームページや広報誌で周知しました。 ③ 多世代交流ふれあいセンター事業 新型コロナウイルス感染症予防対策をしつつ、世代を超えた市民の幅広い交流や男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与する場を提供しました。
・ 外国の人の交流ができる場所や機会があるとよい。 ・ ガラシャ祭の年間を通しての取り組みや場所があればよい。茨木市の取り組みは面白い。【関連：シティプロモーションの推進】 ・ 魅力的な講演会やイベントを無料もしくは安価で参加できて、とてもうれしい。今後も継続してほしい。

【分野10 人権】

施策1 人権・平和を尊ぶまちづくり
一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。
① 人権啓発推進事業 「人権・男女共同参画フォーラム」や「障がい者児の人権を考える市民のひろば」を合同で開催し、講演会やパネル展示を行いました。また、人権啓発作品の募集や「パープル＆オレンジリボンプロジェクト」、男女共同参画講座など人権について学ぶ機会を提供しました。 ② 北開田会館地域交流事業 習字教室、手話教室、料理教室、ヨガ教室、囲碁将棋教室など多様な教室を開催し、令和5年度には文化教養教室の再開や新たな参加者の掘り起こしにより利用者数が増加しました。 ③ 平和施策推進事業 平和記念碑や戦没者追悼碑への献花式、平和に関するフォーラムや展示を行い、動画配信やバーチャル平和祈念館の活用、小学生への平和授業などで若年層への啓発を強化しました。ウクライナ民族楽器バンドウーラ奏者の講演会など、多様なイベントを通じて市民に平和について考える機会を提供しました。
・ 多様な人格が生きやすい環境づくりが大事。 ・ 職業で差別されない社会にしたい。 ・ 人権についての学校教育を充実させてほしい。学校の健診で胸を見せることへの配慮が必要ではないだろうか。

施策2 多様性を認め合う共生社会の実現
すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。
① 男女共同参画社会の実現事業 長岡京市審議会等への女性委員の登用推進要綱に基づき、女性の参画拡大につなげました。 ② 性の多様性理解促進事業 令和3年度に「パートナーシップ宣誓制度」を開始し、京都市や亀岡市と都市間連携協定を結び、令和4年度には向日市や福知山市とも連携することで、手続きの簡略化を進めました。令和5年度には「にじいろ企業登録制度」を制定し、啓発活動を強化しました。性の多様性に関する講座や性的少数者やその周囲の人たちが気軽に集まり交流できるコミュニティスペースの開催など普及啓発をしました。 ③ 障がい理解・合理的配慮提供促進事業 市民、企業、団体、市職員を対象にあいサポーター養成研修を実施し、あいサポート運動を推進し、運動に積極的に取り組む企業、団体等に対して「あいサポート企業等」の認定を行いました。
・ 個人の自由を尊重した行政をしてほしい。

【分野 11 生涯学習・文化・スポーツ】

施策	施策 1 生涯学習環境の充実	施策 2 文化・芸術の振興	施策 3 スポーツの振興	
5年後の目標	誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につなげている。	ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	
実施計画事業	① 各種団体・サークル等活動支援事業 公民館サークル連絡協議会の会員が中心となり、市民ギャラリーの作品展示やオープンハウスを利用したサークル加入のための啓発活動を実施しました。 ② 公民館市民講座開設事業 各世代のニーズに応じた公民館講座を実施し、市民自らが講師となる市民企画講座は令和 5 年度には 46 企画、130 講座行いました。 ③ 中央生涯学習センター事業 指定管理者による講座やイベントにより、学びの機会を提供しました。生涯学習機関紙「be→!」「バンビオここから通信」を全戸配布し、情報発信を行っています。配膳食堂の改修、メインホールのプロジェクター更新など利用環境の改善も図っています。 ④ 図書館サービスの推進・充実事業 図書館では、絵本の並び替えや図書館利用が少ない中学生から働く世代向けの講座の開催、図書館利用困難者に図書の宅配・回収を行うアウトリーチサービスを行いました。	① 長岡京芸術劇場推進事業 市主催事業や長岡京芸術劇場実行委員会主催事業などが新型コロナウイルスの影響で一部中止となりました。令和 5 年度は 22 事業を実施し、4 年ぶりに「長岡京駅前広場コンサート」も開催しました。市内小中学校への出前演奏会やブラスクリニックなどの交流支援も行いました。 ② 文化活動推進・支援事業 長岡京市文化協会主催事業「名月の宴」「市民文化まつり」「長岡京展」の開催支援、新規に「文化・芸術サークル見学会」を実施しました。 ③ 総合的な文化財保存活用の推進 新庁舎歴史資料展示室の整備や乙訓古墳群の保存整備などを重点事業とする「長岡京市文化財保存活用地域計画」を策定しました。歴史講演会の開催や「歴史文化ドリル」の制作支援、ドリルを活用した文化財の情報発信の担い手を育成する学習会を実施しました。	① 総合型地域スポーツクラブ推進事業 8 校区で設立された総合型地域スポーツクラブを中心に「市民スポーツフェスティバル」を開催するなど、スポーツ実施の機会拡大を図りました。新型コロナウイルスの影響で一部事業が制限されましたが、感染対策を徹底しながら実施しました。令和 5 年度には市内全 10 小学校区において「市民大運動会」を 4 年ぶりに開催しました。 ② スポーツ交流推進事業 「若葉カップ全国小学生バドミントン大会」はコロナ禍の開催の中で新たに PR 動画の作成、フォトライブラリー、試合のライブ配信等試合を実施し、継続しています。 ③ スポーツ施設環境の整備 施設の老朽化に対応するため、スポーツセンター、西山公園体育館等の設備・備品の修繕や更新を行いました。	
市民意見 (アンケート調査等)	・ 図書館の蔵書、新しい本が少ない。 ・ 自習室が欲しい。 ・ 建物も古く、憩いの場はホール、ランニングコースなども整備してほしい。	・ 長岡京音楽祭、駅前広場コンサートなどの主催事業を今後も継続してほしい。 ・ 定期的な音楽イベントも年によって盛り上がりが違う。サマーナイトカフェも年々規模が縮小している気がする。ある年だけ大きくするのではなく、毎年規模を更新できるような、風物詩となるような、音楽キッズのあこがれになるようなイベントを開催できたらよい。	・ 大人も子どもも参加できるイベントがほしい。 ・ 長岡京市主催の試合は他の行政に比べると少ない気がする。 ・ スポーツ施設が不足しているので、公立高校等の施設の一時開放など。 ・ 長岡第九小学校で、陸上教室や運動イベントを行っている。ぜひ継続を。 ・ 学童の延長で参加できる、学内でのスポーツ教室のような取組みが充実するとよい。	